

平成 26 年度 自己評価結果公表シート

フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

幼児の興味や発達に個人差に留意した指導を基本とし、知育に偏らず年齢相応な心身の育ちを重視し、心身ともたくましく自分を素直に表現できる明るい子どもと社会性のある自立した子どもの育成を目標とします。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
特別支援教育	一人ひとりの発達や支援のあり方について、保護者や関係機関と連携をとりながら、具体的な支援方法を学び教職員間で意見交換会なども行い教職員全員で共通理解するように努めた。
新任教員の指導育成	新任教員の育成を目指し、主任・学年主任を中心として実践力向上に向け丁寧な指導を心がけると共に、保育においては、他の教員が指導風景を観察して気付いたことなどを意見交換できる機会を設定するなど、常に支援できる体制作りと精神面でも支えていけるように努めた。
教職員間の意思疎通と協力体制及び業務の効率化	各会議や行事などの打合せは、新任教員が無理なく具体的に想像できるように進めると共に、業務がより効率的にできるよう担当係が行事内容、環境構成など余裕を持って立案計画し全教職員の協力体制を保持しながら能率よく進めるよう努め、また、日常の業務においては、教員・事務職員などの職種の違いを原因とする連携ミスのないよう努めると共に、コミュニケーションを取りながら意志の疎通を図り、連絡・伝達事項はできるだけ文書化するなど教職員間で周知徹底するように努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達のためよい援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員の資質の向上を図る	自己の指導力向上のため、常に自己研鑽に励み、国内外の研修会には積極的に参加すると共に、その成果を毎日の保育に活かす。また、園内研修においては引き続き公開保育を行い、各教職員の実践的な保育力向上に努める。更に、各研修会においても、活発な意見や提案などが出やすい雰囲気作りを努め、より充実した会になるように意識して取り組む。
未就園児活動の充実	子育て支援活動の一環として行っている「フレンドクラブ」の活動内容がさらに充実したものになるよう検討を重ねる。また、地域の未就園児を対象として、「園庭開放」、「親子教室」などを積極的にを行い、親子で楽しく触れ合える機会と場を提供できるように努める。
教育環境の充実	園舎内外の整理整頓に心がけ、園舎内の清掃は、教職員だけでなく、定期的に専門業者による清掃も行い、園舎内の衛生管理を徹底し、清潔で安全な環境維持に努める。また、園庭整備計画により園庭全面に芝生を植え、快適で優しい園庭活動ができるよう、保育環境の改善にも取り組む。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。